

エンカウンター (ENCOUNTER)

第 191号

平成30年3月20日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 080-1232-0905

<http://encounter.agape.gr.jp/>

カウマン夫人著『日の出に向かって』より (3)

3月4日

また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」という言葉を耳に聞く。(イザヤ 30・21)

十字路に来て、どの道を行けばよいかわからない時

父なる神の顔を見上げなさい

そうすれば、父なる神から行くべき方向を教えてください

十字路に来て、夜のような、暗い雲が頭上にかぶさっている時

すぐ父なる神を呼び、光を送ってもらうように頼みなさい

私は十字路に来ました。私を慰めてくれる言葉を聞きました。

「恐れるな、おののくな。私があなたと共にいる

あなたが生きながらえる間、私はあなたに力を与える」

私は十字路に来ました

しかし、私はこのような言葉を聞くことを更に必要としています

なぜなら恵みと勇気がついて来るからです

私を導くお方よ、あなたの知識は確実です

あなたは旅路で困難に陥っていますか。神の所に行きなさい。彼は約束して下さいます。

「私はあなたに命じ、どの道を行ったらよいのかをあなたに教える。私の目を見て、あなたを導く」。

賢明な昔なじみの道は、私に教えてくれている。十字架に来たとき、そこに道標があるのだと。

3月8日

だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようか
と言って思いわずらうな。これらのものはみな、異邦人が切に求
めているものである。あなた方の天の父は、これらのものが、こ
とごとくあなたがたに必要であることをご存じである。

(マタイ 6・31, 32)

シンプソン監督は、彼の妻にこのように書きました。「健康に注意
しなさい。元気で、上を見上げなさい。私たちが見た時にだけ、星
はその美しさを表わしている。そしてもし地を見れば、心は決して
喜べないでしょう。」

今日幸せであろうと決心しなさい。今、喜んでいなさい。そして、
この飛ぶように過ぎていく瞬間瞬間から、すべての可能な限りの純
粋で、いつまでも続く楽しみを引き出しなさい。

私は明日まで悲しみを持ち越さない。そうでなくて、喜びをこの
日のうちに持つのだ。

私たちの態度が、私たちの高さを決めるのだ。

3月9日

こうして、私たちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたの豊かに与えられるからだ。

(Ⅱペテロ1・11)

特別な意味において、70歳で人生は始まります。なぜなら、その時が成熟した精神で、豊かな心をもって、だれでもが人生の学校を卒業すべき時だからです。それは、学びの初期の時代には不可能であった奉仕を行なう時です。半世紀近くの年月、クリスチャン生活とその奉仕を続けてきて、私たちは角が取り除かれ、心が熟してきたのです。その間、この人生の学校では、律法が私たちをキリストに導く教師でした。

そして青年だった時には全く実現しなかった夢が、全能、遍在、全知なる神を経験したあの時に生まれた大胆な確信のゆえに、成熟していることに気づくのです。

70歳になった時、私たちは丘の峰に立ち、ここまで登ってこられたこと、数々の経験、そして力が増し加えられたことを神に感謝します。また頭上に広がる栄光に輝く眺めがどこまでも伸びていく水平線、以前は予想もしなかった美しさを見ます。そして私たちは、更に高峰へ、さらに栄光に満ちた所へと登ることができます。それらは、背後にある苦労の結果であります。

もし人が70歳になると、これ以上そんなに長く生きられないのは確かですが、57歳あるいは67歳の時よりも、人生は深く、高く、広くなるに違いありません。

一般の歴史においても、また特に私自身の経験の光に照らしてみても、70歳の時は、それ以前よりももっと大きな責任に直面し、それを負うことになるのです。

3月12日

火よ、あられよ、雪よ、霜よ、み言葉を行う嵐よ、(詩篇 148・8)

私はかつて田舎の古い家に住んでいました。そこでは、時々風が周りを吹き荒れていました。もし風がそんなに吹くなら、音楽が聴けるかもしれないと考えて、板にさし渡して裁縫用の絹糸を張った粗末なアエオリアン琴を作りました。私は北側の窓を少し開けてそこにその琴を置きました。果たして強い嵐の来た時、家中どこでも音楽が聞けました。あなたの人生に北側の窓はないでしょうか。信仰、希望、愛の3本の線をうまく並べ、人生の嵐がこの悲しい世の中に音楽以上のものを持ち込むというふうにはできないでしょうか。多くの人はこのことを現在行なっており、私たちの夢見ている音楽以上のものが、たぶんこのようにしてやって来ています。

神は多くのアエオリアン琴を持っておられる。あなたもその琴の一つになりませんか。

3月14日

わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。私はなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。(詩篇 42・5)

50年の輝かしい成功の後、偉大な作曲家ヘンデルは倒れ、落ちぶれてしまいました。彼は健康を害しました。彼の第1の経済的援助者、キャロリン女王も死んでしまいました。彼は借金で首が回らなくなり、食べ物にも困るようになりました。希望もなく、疲れ果てて、彼は自分が百歳の年寄りのようにさえ感じました。元気を鼓舞するような火は残っていませんでした。……希望もなく、彼はみすぼらしい下宿に帰りました。そして机の上に、かさばった小包を見つけました。封紙を切り、中味を取り出しました。「聖なるオラトリオ」という言葉がそこにありました。作詞者は、ヘンデルにその詩のため曲をつけてくれと頼んでいました。ヘンデルは腹が立ちました。彼は宗教的な人間ではなかったし、ちょうどその時、宗教のことを考える気持ちにはなれなかったのです。この作詞者は、どうして代わりにオペラを書かなかったのでしょうか。しかし、彼が頁をめくりだした時、一つの節が彼の目をとらえました。「彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で……でも彼は神を信頼した。神は彼の魂をよみに捨ておかれなかった。彼はあなたに休息を与える。すばら

し助け主。私は私の生きている贖い主を知る。喜べ。ハレルヤ」。

ヘンデルは昔の日が再び燃え出すのを感じました。彼の心の中に不思議なメロディが、次から次へと駆け巡りました。ペンを捜し出し、驚くような速さでページからページへと書き出しました。24日間、夜昼となく、睡眠と少しばかりの食物をとるために時々休んだだけで、彼は労しました。24日目に、彼は自分の疲れた身体をベッドに投げ出しました。彼の机の上には、今まで書かれたことのなかったほど偉大なオラトリオ「メサイヤ」の楽譜が置かれていました。

彼の人生の最後の年月は、多くの問題があつて、彼を悩ませました。しかし、彼は決して降参して、絶望に陥ることはありませんでした。彼の復活した信仰が、最後まで勝利をもたらしました。神は一人の老人の疲れ果てた心に触れ、元気にあふれた命で満たして下さいました。

あなたは年を取っているかもしれませんが。若いかもしれませんが。もしあの冬のような絶望に神の愛をもって触れていただくならば、あなたは春を待つことができます。世の中がどんなに荒れたように見えても、また何度あなたを打倒しても、「私たちの信仰こそ、世に勝つ勝利である」。

3月17日

主のもとにあなたの道に向かわせ、そして、主に寄りかかれ、そうすれば、主はそれをうまくやって下さる。

(詩篇 37・5)(アラビア語訳)

到達すべき天の高台が

多くの恐ろしい場所にある

貧しくて、臆病な神の世嗣たちは

神の御前で盲目的に横たわっている

神の光を思いこがれながら

彼は決して見ることはできない

彼があなたのしるしを求めて進み出て

そしてあなたを信じるまでは

信仰とは、真理を見出すことを確信して

前進しようと試みる心の勇気である

トーマス・アクイナス

勇気をもって前進することは、奇跡を招く。

3月20日

あなたの道を主に委ねよ。また主にあってくつろげ。そうすれば
(私たちが委ねたまさにその事を) 主は、なしとげて下さる。(詩
篇 37・5) (ダヴィット・コーヴィ訳)

彼女の人生の状況を、彼女は変えることはできませんでした。しかし、それを主のところへ持って行き、主の御旨のままにとお任せしました。その時、主が受け入れて下さったと信じて、彼女はすべての責任、心配、願望を主のもとに任せました。心配が戻ってくる度に、主のもとに持って行きました。その結果は変わりませんでしたが、彼女の魂はその状況の真ん中で、完全な平安を保つことができました。

主に従う者かどうかの判断のしるしは、失望によって弱気になったり、頑固になったり、不機嫌になったり、絶望したりしないことである。

3月21日

エフライムよ、わたしは偶像となんの係わりがあろうか。あなたに答え、あなたを顧みる者はわたしである。私は緑のいとすぎのようだ。あなたはわたしから実を得る。(ホセヤ 14・8)

私が年をとって

人生すべて耐え難く思われ

悲しくて、独りぼっちだと感じる時

人々が、全然かまってくれないと思うとき

主よ、私に安らかな心をもたせて下さい

……

私の心を日々、訓練してください

優しさだけを持つことができますように

年月が経って、年をとっても

私が優しさを保つことができますように

私をどうか、優しい者にして下さい

人生に当然あるいらだたしさを越えて

楽しい永遠の喜びを見ることができるようになってください

そうです。年をとっていく中であっても、私を優しい者としてくだ

さい……

3月28日

わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。(ガラテヤ6・9)

最後の一步、それが勝利を得るのです。天上の都の入り口が近づくにつれて、巡礼者の歩みの道筋には、どこにもまして多くの危険が待ちかまえているようになります。そこには疑いの館がそびえていました。また、そこには疲れはてた旅人を死の眠りに誘い込む、魔力に満ちた場所がありました。天上の都が完全に見える時、地獄の門は最もしつこく、非常に危険な災いとなるのです。

悪魔が激しく攻めようとも

天使が長い間身を隠そうとも

私は真実と正義が

宇宙を味方とすることを知っています

星のかなたのどこかには

運命よりまさる愛があります

夜のとばりが開く時

私は神を見ることができるようです

だから私は待ち続けるのです

ワシントン・グラデン